

10回 OB活用組織全国会議

— 各組織の相互連携を目指して —

OB活用組織全国会議は、全国各地で活動している中小企業支援機関の相互連携を目的として、平成19年に大阪科学技術センター ATAC の呼びかけで発足し、今回で第10回の節目を迎えた。今回は平成28年10月28日に大阪科学技術センターで、全11機関と日刊工業新聞の赤穂編集局長様の参加を得て開催した。

1. 開会挨拶

ATAC 運営委員長梶原孝生から、「前回の会議で、本会議を存続すべしとの意見が圧倒的多数を占め、今後も継続して開催していくことになった。今回は特に各組織の課題について、忌憚のない意見を頂戴したい」との挨拶を行った。

2. 各組織の活動状況と課題

多くの機関から課題として、メンバーの減少とクライアントの減少が挙げられた。以下、各組織の特記事項を紹介する。

(1) 企業組合 STEP-21 (滋賀)

企業巡りでクライアント確保に努めている。

(2) 一般社団法人 関西活性協議会 (大阪)

講演会の開催や産官学連携に注力している。

(3) 認定 NPO 法人 産業人 OB ネット (神戸)

活動成果を「社会貢献度」で判定している。

(4) 一般社団法人 日本機械学会関西支部 シニア会 (大阪)

技術伝承のため、資料を HP に掲載している。

(5) キャリア・コンサルタント協同組合 (東京)

中小企業対象の経営コンサルタント事業を推進。

(6) (株) パワーマーケティング (大阪)

新規に企業 OB の派遣事業を展開している。

(7) (株) 英知継承 (大阪)

企業 OB の技術士や博士等と企業のマッチングを展開。

(8) NPO 法人 プラスティック人材アタッセ (大阪)

プラスチック技術セミナーを実施し、好評。

(9) ノウハウ会 (大阪)

エコステージをコアとした活動を推進中である。

(10) NPO 法人 アタック・メイト奈良 (奈良)

技術支援と地域貢献 (ボランティア) を両立。

(11) 大阪科学技術センター ATAC (大阪)

補助金を中心に銀行とのタイアップを進めている。

3. まとめと交流会

各機関の会報を共有することを決定。さらに、今回は、各機関の課題と相互の連携方法をより深く協議することにした。また、会議後の交流会では参加者同士で活発な意見交換が行われた。(永嶋記)

